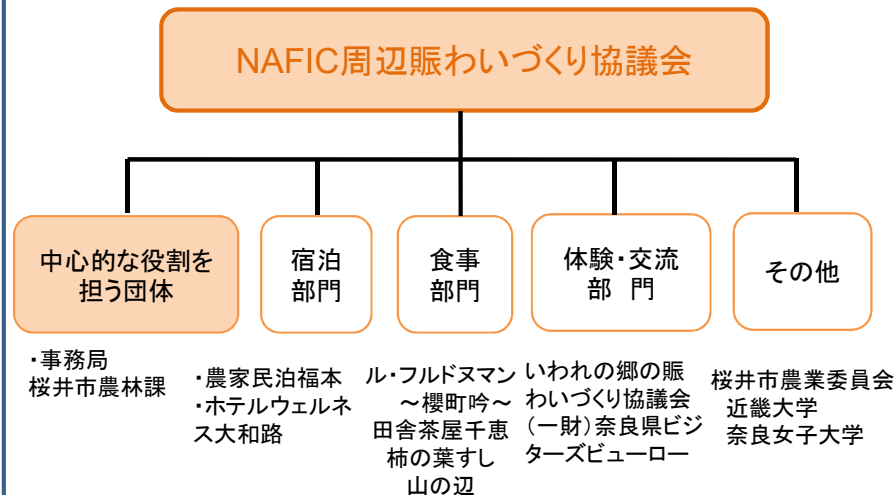


○「なら食と農の魅力創造国際大学校」(略称「NAFIC」)周辺で、農村文化や風俗風土、歴史をゆったりと味わい楽しむ新たな魅力の発信や、自ら栽培、収穫した野菜をプロの料理人の手でメニュー開発、子供から大人までが季節ごとに農業体験が楽しめるような農泊プログラムを開発し、国内外からの来訪者の新たな魅力ある地域としての情報発信を図る。

奈良県桜井市



【実施体制】



【採 択 年 度】
令和元年度

【事業実施期間】
令和元～2年度

【特徴的な取組】

- 食・農体験、農泊につながる魅力発見
地域の特徴ある農村資源(農地や歴史、景観など)を集落点検による聞き取りや、スマートフォンに風景を投稿できるしくみづくり。整備された農地での新技術を活かした滞在型、体験型プログラムの開発と実践。さらに、活動継続のため企業や農家の発掘・誘致・連携を実施。
- 新たな食の創造
農家と料理人が連携して食事メニューを開発し、農体験を取り入れた農場巡りや滞在に必要な食事(竈炊きのおむすび弁当等)を提供。
- 新たな魅力の発信
四季や朝夕など地域の魅力的な映像及び情報の発信(SNS等)とインバウンドへの体制整備。



体験プログラム開発



食事メニュー開発



集落点検・お写真歩マップ

【取組内容】

地域の特徴ある農村資源(整備農地や歴史、文化、自然、景観など)や周囲の施設環境(農や林の施設)を活かして体験・経験出来る農泊や新技術を用いた新たな農業、農家と料理人が連携した食事の提供、地域の豊富な農村の魅力的な映像や情報の提供とインバウンド対応により、新たな地域産業(コミュニティー産業)を定着させ、雇用の増大や住民のやりがい増大などによる農村地域活性化を図る。

(1)食・農体験、農泊につながる魅力発見

①食・農体験、②農村探訪、③農林業・新技術体験

地域の特徴ある農村資源や周囲の施設環境(農や林の施設)等を改めて調査し、散策できるコースの設定や体験・滞在できるプログラムの計画を作る。

(2)新たな食の創造

特産物や新メニュー開発のPRの場に多くの関係者・地域が集う機会を設けることで、内外に地域の食への関心を高め、さらに新たなメニューが開発される機会となるよう推進する。

(3)新たな魅力の発信

地域の豊富な農村資源(四季や朝靄のかかる風景、夜空の星や夜景、鳥・虫のさえずりなど)の魅力を調査、取材し、映像や情報(SNS等)として発信する。

インバウンド対応状況(青:対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約



NAFIC周辺風景



グランピングテント設営